

「読書のすすめ」

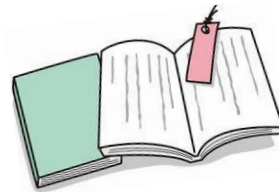
主幹教諭 齊藤 祐介

石神井西中学校では登校後、8時25分から35分まで朝の読書活動を行っています。朝読書を行うこと目的としては、①語彙力・読解力・表現力を身に付ける。②思考力を高め、感受性を豊かにする。ということ年度当初に生徒たちには伝えてあります。特に中学生年代では、語彙力・表現力の乏しさから本当に自分が言いたいことを、言葉をよく吟味できずに発してしまうことがあります。読書を通じて、思考力を高め、感受性を豊かに育てることで、相手の立場に立った言動・立ち居振る舞いができるようになるとも思っています。

私が出会ってきたり、生徒たちがおすすめしたりしている、中学生のうちにぜひ一度は読んでもらいたい本を挙げておきますので、参考にしていただくと幸いです。

「生きることや生き方について考えさせられる本」

- ・「君の臍臓を食べたい」住野よる 著
- ・「人魚の眠る家」東野圭吾 著
- ・「夏の庭」湯本香樹実 著
- ・「百万回生きた猫」佐野洋子 著
- ・「カラフル」森絵都 著
- ・「アルジャーノンに花束を」ダニエル・キイス 著
- ・ひかりごけ 武田泰淳 著
- ・「高瀬舟」森鷗外 著（教科書掲載）
- ・「平家物語～敦盛の最期など」（教科書掲載）



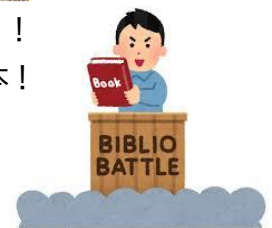
「意外な結末 大どんでん返し系の本」

- ・「リバース」湊かなえ 著
- ・「そして誰もいなくなった」アガサ・クリスティー 著
- ・「最後のトリック」深水黎一郎 著
- ・「容疑者Xの献身」東野圭吾 著



「今年度、本校生徒によってビブリアバトルで紹介されたおすすめ本」

- ・「成瀬は天下を取りにいくな」宮島未奈 著 関町図書館で行われた決勝戦でのチャンプ本！！
- ・「チーム」堂場瞬一 著 関町図書館で行われた決勝戦での準チャンプ本！
- ・「ねずみの騎士 デスペローの物語」ケイト・ディカミロ 著
- ・「島は僕らと」辻村深月 著
- ・「縞模様のパジャマの少年」ジョン・ボイン 著



今年の学校図書館全国大会に参加させていただいた際、茂木健一郎氏の記念講演を拝聴する機会に恵まれました。その講演は「子どもが読書することの意義」というテーマでした。茂木氏は子ども時代にはやはり本をよく読まれたようで、「本を読んだ数だけその本が足の下に積み重なって、遠くまで見える。だけど、偏ったジャンルだけ読んでいると足元がぐらついてしまう」という言葉を述べておられ、とても印象に残っています。生徒に読書活動を啓発していくなかで、さまざまなジャンルから興味関心が導けるような選書をしていくことが大切なのだと感じさせられました。

学校のとなりが関町図書館という恵まれた読書環境にある石神井西中学校の生徒たちには、より積極的に読書活動に取り組んでほしいと願っています。授業で得た知識や考えが本の内容とマッチしたときの驚きや感動、普段手に取らない本から得られる新たな発見など、読書には大きな可能性が秘められています。読書が苦手だという人も、まずは上に挙げたような本をお試しに手に取ってほしいと思います。良書を通じて、自分自身の新たな扉が開くことを生徒たちには期待しています。